

地域に広がる

「国際交流」の輪

昨年、区内では、FIFAワールドカップ™やDPI世界会議などが開催され、地域における国際交流が活発に行われました。個人だけでなく地域にも多様な価値観を生み出す「国際交流」。今月は、日ごろから地道に国際交流を進める団体と、国際交流の拠点となっている区内の施設を紹介します。

留学生との交流から学ぶ貴重な経験

■異文化理解教育愛好会

豊平地区にある北海学園大学の学生サークル「異文化理解教育愛好会」。2年前に発足したこのサークルでは、日常生活やイベントなどを通じて留学生たちと交流し、お互いの文化に対する理解を深めています。

同サークルには、現在五十二人の学生が加入しています。活動は主に、同じ大学に通う留学生の講義サポートや、学生同士、あるいは地域住民との交流を促す行事の企画・実施などです。「日本と近い韓国の留学生と接していても、文化の違いが伝

わってきます。また、日本に居ながら祖国のことを真剣に思う姿を見ると、考えさせられることが多いです」と話すのは、代表を務める大堀晋也さん（人文学部2年生）です。大堀さんをはじめ、サークルのメンバーたちは、留学生との日々の交流から、多くのことを学んでいます。

イベントで広がる交流の輪

昨年の十二月に、大学のすぐそばにある札幌留学生交流センターでクリスマスパーティーが開催されました。同サークルが進行役を務めたこの催しには、留学生を中心に多くの方が集まりました。出席者の一人、北海学園大学に通う韓国出身の金声勲さんは、「愛好会の方たちに

は、いつもお世話になってます。このようなイベントに参加することで、自分の学校以外の人と知り合うことができます。もっとこういう場を作ってもらい、みんなで親交を深めたいです」と話してくれました。

大堀さんは、「これからは、地域の人を交えたイベントも増やしていきたいです。多くの方が、多くの留学生と仲良くなれるような環境づくりに一役買えればと考えています」と、今後の抱負を語ってくれました。



サンタクロースの格好でパーティーの司会をする大堀さん（左から2人目が金さん）

札幌留学生交流センター SAPPORO INTERNATIONAL STUDENT CENTER



留学生が進行を務める母国文化紹介セミナー



昨年の会館祭りの一場面

札幌留学生交流センターは、札幌で学ぶさまざまな国の学生に、良質で快適な住まいを提供するとともに、地域における市民と留学生の交流促進を支援するため、平成12年にオープンした施設です。学生同士、あるいは留学生や市民の交流の場として、会議室や交流ラウンジ、軽スポーツ室などを備えており、現在、27カ国、81人の留学生が入居しています。

また、センターでは、市民を対象にした留学生による母国文化紹介セミナーや近隣の学校との交流、スポーツ交流会などの催しも行われています。

留学生交流センターから区民の皆様へ

3月1日(土)正午から、同センターにて留学生主催による「会館祭り」が行われます。3回目となる今年も、各国の文化・料理の紹介や語学の体験教室、各種アトラクションなど、イベントが盛りだくさんです。会場で留学生たちと会話したり、さまざまな国の文化を見たり触れたりして楽しんでください。多くの方の参加をお待ちしています。

※「会館まつり」の参加費用は無料。どなたでも参加できます。

(詳細) 札幌留学生交流センター（豊平6条6丁目） ☎817-3615